

2022(令和4年) ハタハタ情報 No.1

令和4年9月22日発行

北海道立総合研究機構 中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

後日、インターネットからもご覧いただけます↓

マリンネット北海道 : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/index.html>

道総研水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査概要】 2022年9月11～12日に、留萌沖の水深200～400mの7調査点でトロール網による漁獲試験を行い、ハタハタを採集しました。

- 採集の主体は1歳魚(2021年級)であり、前年に0歳で多く採集されたが本年調査の採集尾数は近年の9月調査と同様に少なかった。
- 体長は12.5～18cm台であり、平均体長は前年に比べわずかに大きくなった。
- 水温は過去3年と比較してほぼ全層で低い値であった。

1. ハタハタの採集状況

今回の調査では留萌沖の7地点でトロール網を曳き、5地点でハタハタを合計19尾(1歳:15尾, 2歳:3尾, 0歳:1尾)採集しました。1歳以上の1マイルあたり採集尾数は3.5尾であり、前年(3.0尾)よりわずかに増加しましたが、調査を始めた2002年以降では少ない尾数でした(図1-1, 1-2)。

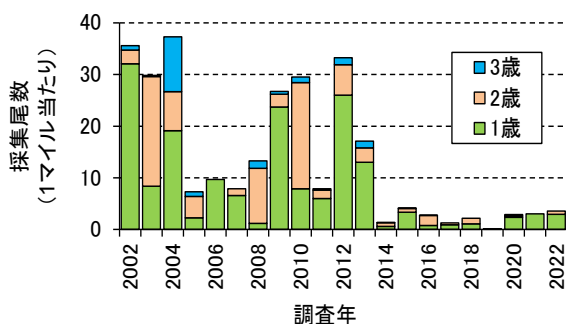


図1-1 採集尾数の年変化

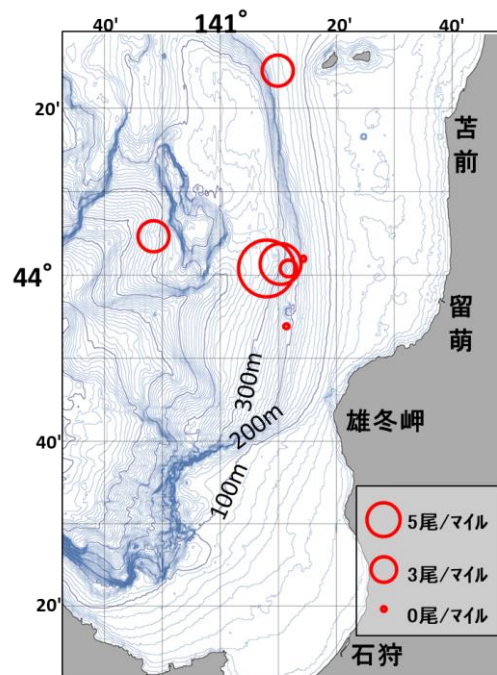


図1-2 9月トロール調査による採集尾数(1歳以上)

2. ハタハタ(1歳以上)の体長と年齢

今回の調査で採集された1歳以上のハタハタは計18尾でオスが12尾(1歳11尾, 2歳1尾)メスが6尾(1歳4尾, 2歳2尾)でした。体長は12.5～18cm台であり、平均体長は前年に比べわずかに大きくなっています。(図2)。

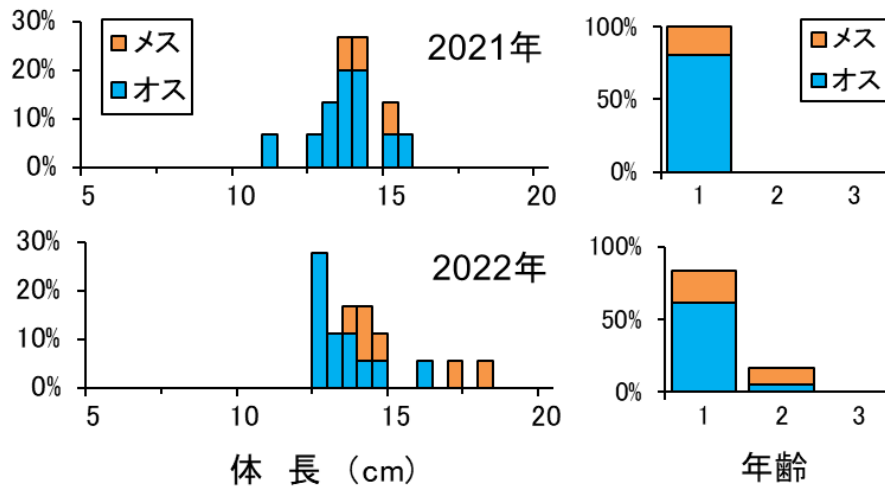


図2 トロール調査で採集されたハタハタ（1歳以上）の体長組成と年齢組成

3. 0歳の採集状況

今回の調査におけるハタハタ0歳魚の採集尾数は合計1尾（1マイルあたりの採集密度は0.21尾）であり、前年に比べ極端に少なくなりました。（図3）。

前年の0歳魚の採集密度から今漁期に1歳となる2021年級の来遊が期待されますが、今回のトロール調査では、1歳の採集尾数は前年と同程度でした。

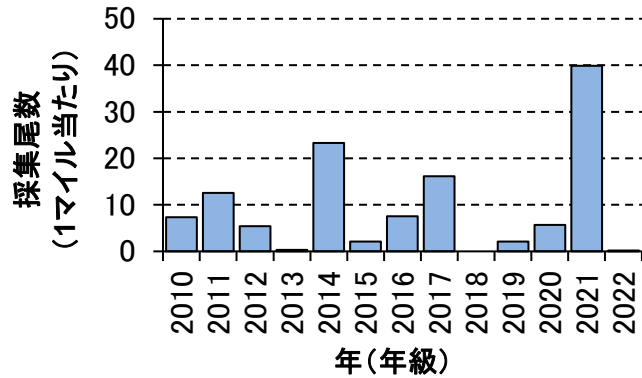


図3 9月トロール調査による0歳魚の採集密度

4. 水温

今回の調査中に実施したCTDによる雄冬沖（北緯44度，東経141度）の表層から底層にかけての水温観測結果を過去3年（2019～2021年）の結果と併せて示しました（図4）。

今回の調査で観測した水温は過去3年と比較して、深度50m付近の水温躍層を除き、表層から深度300m付近の底層まで一貫して低くなっていました。ハタハタが分布していると思われる底層では毎年の差は小さくなっています。

5. 今後の調査など

近年、9月調査のハタハタ採集尾数が少なく資源量との関係が不明瞭で来遊状況を判断するのが難しくなっています。そのため10月に実施予定のトロール調査の結果を含めて今後判断していきたいと思えます。

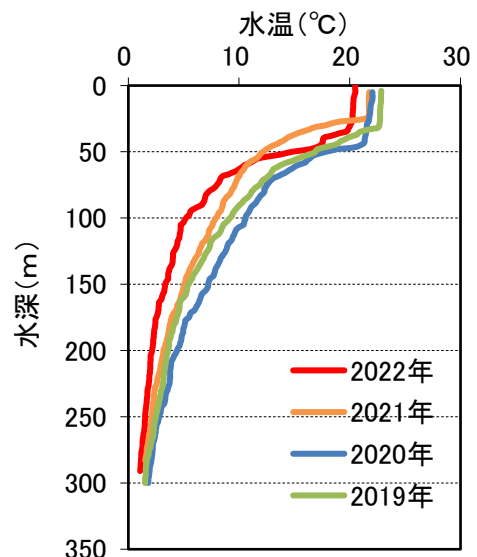


図4 雄冬沖（44° N，141° E）の水温分布